

令和7年度 信愛会本部 事業報告書

① 理事・評議員会等の開催内容

- 令和 7年 6月 ①法人監査(監事報告及び顧問公認会計士所見)
②理事・評議員会:決算事業報告・役員等改選に係る事項
令和 8年 3月 ①理事・評議員会:補正予算・次年度予算・事業計画・諸規程整備

② 主な活動報告

- 上半期 ※ 基本的な感染予防継続・面会は予約制・研修行事等の企画は緩和
※ 新人オリエンテーションおよび既存職員への適時方針等説明
※ 介護DX試供機器レンタル(県社協担当部署通じ専門業者対応)
※ 居宅事業でのカスハラ対応ケース会議(理事長・事務長・主任ケアマネ / 関連事業者)
※ ソフトバンク通信アンテナ設置契約(本部特養敷地入口)
※ 就労支援B「わくわくスタジオ」と特養シーツ交換業務委託契約(社福・三活会)
※ オレンジリングかすや篠栗の認知症講演会協賛(本部特養2F会場)
※ 地域の中学生と特養利用者との音楽交流(篠栗北中学・篠栗探求88タイム)
※ ユニ・チャーム排泄ケアアドバイザー講習複数回(特養排泄委員会・主任相談員等)
※ 特養入所判定会議上期(施設長・相談職・第三者委)
※ 決算報告・事業報告・監事監査・顧問公認会計士所見(法人本部)
※ 法人資産変更等登記申請(福岡法務局)
※ 公益法人等収支計算書類提出(香椎税務署)
※ 社会福祉法人現況報告データ公表(福岡県庁)
※ WAM返済条件変更継続申請(福祉医療機構へ適時報告)
※ 介護サービス公表システム情報更新(福岡県庁)
※ 介護サービス事業所調査票提出(厚生労働省)
※ 信愛会ホームページ情報公開更新(各種団体分も同時更新)
※ 法人役員賠償責任保険更新(FFGほけん・損保ジャパン)
ソウエルクラブへの各種申請(職員互助会・福利厚生センター)
退職共済職員名簿提出(福祉医療機構)
介護職等処遇改善関連計画報告提出(福岡県庁及び広域連合等)
軽自動車免税申請(篠栗町役場)
車両一括フリート保険更新(篠栗モーター・損保ジャパン)
職員健康診断(三野原病院)
配置医師等電子報告(福岡県庁)
給食施設定期検査(粕屋保健所)
特養建物設備定期点検報告(委託業者より所轄団体へ報告)
- 下半期 ※ 福祉特別功労者表彰(県社会福祉大会にて、柳 理事長・県知事賞受賞)
※ 福祉特別功労者表彰(岩切事務長・県社協会長賞受賞)
※ 県共同募金会篠栗支会表彰(篠栗町社協会長より、信愛会本部受賞)
※ 地域の保育園児が特養施設クリスマス会にゲスト出演(町社協・栗の子保育園)
※ 協力医療機関協定に基づいた連携・感染対策研修等実施(篠栗病院担当看護職)
※ パラマウントベッド「眠りコネクト」センサー機器視察(社福・希望の丘)
※ 生産性向上・多職種代表会議定期開催(生産性向上委員長ほか各管理職)
※ 特養入所者家族説明会(介護報酬改定による料金変更予定・居室面会緩和等)
※ 物価高騰支援金:入所系・通所系の申請(福岡県庁)
※ 特養入所判定会議下期(施設長・相談職・第三者委)

- ※ 事業継続BCP対策・防犯マニュアル更新（全職員へ周知）
- ※ 虐待拘束ハラスメント防止資料（全職員へ周知）
- ※ 赤い羽根共同募金/歳末募金（職員互助会から篠栗町社協へ）
- ※ インフルエンザ予防接種（利用者：篠栗病院 / 職員：やまのクリニック）
- ※ 給食委託業者：昭和イーティングとのヒアリング（施設管理栄養士と双方管理職）
- デイサービスセンター：オアシス篠栗の行政財産使用許可更新（篠栗町役場）
- 法人包括火災保険更新（福祉共済会・あいおい損保）
- 施設賠償保険更新（E保険プラン・あいおい損保）
- 福岡県「子育て応援宣言企業」「エコ事業所」登録継続（認定証等掲示）
- 福岡県「飲酒運転撲滅宣言企業」登録継続（ポスター等掲示）

③ 福祉医療機構分の借入金償還について（返済条件変更継続申請中：介護事業利益率低下につき）

平成22年時：篠栗荘移転改築時分（当期元金償還 8,001,000円 利息支出 3,399,418円）

④ 情報公開・指定更新・地域貢献・人材育成への対応

- i パンフレットや各種広告に加え、ホームページでの情報公開、理念方針・個人情報保護・苦情解決体制・定款・財務諸表・事業計画報告・監査報告・役員一覧・組織図・サービス説明書等のデータ適時更新
- ii 介護保険事業所（特養篠栗荘・併設ショートステイ・デイサービスセンター・ケアプランセンター）は、「介護サービス情報公表制度」に基づく公表データ更新（平成18年度より毎年）
- iii 介護保険事業所（特養篠栗荘・併設ショートステイ・デイサービスセンター・ケアプランセンター）の指定更新（令和8年度より6年間有効）

※ 地域社会貢献活動について



【地域の社会福祉法人と連携：篠栗町社協の福祉講座等に主任相談員や管理栄養士が出向、県社協ふくおかライフレスキュー粕屋連絡会に参加、旧施設をリユース品倉庫とし無償提供】
共同募金/歳末募金（職員互助会からと自販機売上一部）・非常食買替時にフードバンクへ・飲酒運転撲滅宣言・エコ事業所登録等々

※ 福祉人材育成について



【信頼と共感のもてる職場づくりの方針：新入職員へ初期教育・既存職への専門研修・待遇改善・規定明示・WEB研修等への参加促進や資料配布・資格取得支援】
小中学生へ福祉教育・教職課程大学生の介護体験受入・管理栄養士養成実習受入・子育て応援宣言継続・応急手当普及員配置・喀痰吸引研修・協力歯科の口腔ケア指導・消防や防災業者による定期点検訓練等々



〈 法人事務部門報告 〉

“ 信頼と共感の持てる職場づくりに取り組みつつ、適正な情報公開・財務規律に努めました”

【信頼と共感の持てる職場づくり】 これまで数年間、人財育成や待遇改善、業務省力化を図ってきましたが、新型コロナウイルス禍以降、継続的な感染対策や人手不足、物価高騰、養護措置施設の閉園等々厳しい状況を経験しました。現在は、既存の介護保険事業に集中して、「小さくともキラリ輝く運営を」指針に、諸課題に真摯に向き合っています。

【情報公開への取り組み】 社会福祉法人に求められる情報公開の全項目をホームページ等に掲載適時更新。

【適正な会計処理について】 顧問公認会計士のチェックを受け、適正な財務管理に努めました。

予算計画や決算報告等において、要点や方向性を分かりやすく解説しました。

【監査・調査等への対応】 重点項目を継続的にチェックし、記録証書類の確実な更新保管に努めました。

特に財務や法人の状況調査等においては、実態をご理解頂ける様な資料作成や、

情報収集・分析を行い、現状アピールに努めました。

【コスト管理等の取り組み】 費用対効果を考慮した選択を行い、物価高騰や優先度の高い支出に備えました。

【防災救急対策について】 緊急連絡網や自衛組織表など適時更新し、訓練点検も定期的に実施しました。

自然災害等に関しても資料揭示・注意喚起。消防立入検査も支障なし。

事業継続BCP(感染編・災害編)想定や防犯マニュアルも更新して全職員に周知。

(適時各種シミュレーション実施)

社会福祉法人 信 愛 会 は、

カトリックの隣人愛の人間観に基づき、全職員が人間尊重を基本理念とし、福祉人として老人福祉事業に取り組みます。

「ふれ愛 いき愛 いかし愛 共に喜び 共に生きよう」

をモットーとして、安心してご利用頂けるサービスを提供します。

令和7年度 研修出張等の記録（本部・特養区分）

職 種	研 修 名	研 修 日	研 修 場 所	主 催 者
施設長	北館ブロック施設長会	4月21日	博多区	北館ブロック
	ふれあい会総会	4月24日	熊本市	熊本市赤十字老人看護専門学校
	カトリック老協九州支部施設長会議	5月13日	ZOOM	カトリック老協九州支部
	福岡県老協施設長会	5月14日	ZOOM	県老協
	福岡地区老協総会	5月30日	博多区	福岡地区老協
	安全運転管理者講習	8月4日	ZOOM	福岡県公安委員会
	認知症電話相談を受けて(講話)	9月20日	熊本市	オレンジリンクかすや熊東
	カトリック老協施設員研修大会	10月7日	博多区	カトリック老協九州支部
	福岡県福祉大会	10月31日	春日市	県社協
	高齢者虐待防止の本質について考える研修会	11月14日	博多区	特定非営利活動法人
	地域ケア会議	2月10日	熊本市	熊本市福祉課
	北館ブロック施設長会	2月25日	ZOOM	北館ブロック
	福岡地区老協総会	3月4日	博多区	福岡地区老協
	ふくおかライフレスキュー管理委員会	3月17日	志免町	ふくおかライフレスキュー
事務長	仮設会運営会	6月13日	熊本市	熊本市
	福岡法務局・重要登記	6月30日	福岡市	福岡法務局
	介護業界に関するお問いについて	9月9日	ZOOM	研究大学生(3名)
	福岡県福祉大会	10月31日	春日市	県社協
	特養設備講習	11月11日	ZOOM	県医師会
	聖母園視察	12月8日	大刀洗	張りコネット機器見学
労務	労働保険年度更新事務講習会	5月20日	熊本市	県社会保険協会
	法定基礎届事務説明会	6月12日	博多区	〃
	メンタルヘルス対策セミナー	7月30日	ZOOM	福岡労働局
	労災防止説明会	8月26日	〃	福岡県労働基準監督署
	育児休業に関する事務説明会	9月17日	熊本市	県社会保険協会
	パワハラ防止に関する法令講習会	10月16日	〃	〃
	年末調整事務講習会	11月12日	〃	〃
	健康保険給付事務講習会	1月28日	〃	〃
介護主任	視察(保和行為等)	3月20日	熊本市	人権教育啓発推進センター
	BCP研修	7月18日	ZOOM	シルバー産業新聞社
	指定更新に係る現地確認	8月12日	熊本市	県介護保険課
	現場職員向けリスクマネジメントセミナー	9月6日	ZOOM	ワイズマン
	福祉用具セミナー	11月6日	クローバープラザ	県社協
	職員研修事務研修	11月10日	博多区	福岡地区老協
	高齢者虐待防止の本質について考える研修会	11月14日	〃	特定非営利活動法人
	聖母園視察	12月8日	大刀洗	張りコネット機器見学
	張りコネットセミナー	1月20日	Web	パラマウントベッド
	やすらぎの施設(経口加算ASK)	2月16日	志免町	熊本市
主任相談員	生産性向上推進フォーラム	3月2日	Web	厚労省
	福岡地区老協介護経営セミナー	3月4日	博多区	福岡地区老協
	福岡ライフレスキュー事業サポーター会議	5月20日	志免町	福岡ライフレスキュー事業推進地区
	熊本市中・福祉コース生徒訪問(18名)	6月27日	熊本市	熊本市中学校
	ライフレスキュー	8月8日	博多区	粕屋地区連絡会
	人権研修・身体拘束防止研修	8月21日	ZOOM	福岡地区老協
	北館相談員会議	9月18日	〃	北館ブロック
	認知症サポーター養成講座に係る講師	9月18日	熊本市	熊本市中学校
	熊本市介護サービス事業者連絡会	11月11日	〃	熊本市
	ライフレスキューサポーター会議	11月18日	志免町	ライフレスキュー
	聖母園視察	12月8日	大刀洗	張りコネット機器見学
	防犯Web研修	1月6日	熊本市	福岡地区老協
	病院連携部会研修	1月21日	〃	熊本市
	苦情解決セミナー	2月4日	ZOOM	県社協
	やすらぎの施設(経口加算ASK)	2月16日	志免町	熊本市
生活相談員	ライフレスキューサポーター会議	2月17日	志免町	ライフレスキュー
	福岡地区老協介護経営セミナー	3月4日	博多区	福岡地区老協
	熊本市介護サービス事業者連絡会	5月20日	熊本市	熊本市福祉課
	北館相談員会議	6月20日	ZOOM	北館ブロック
	特養こどもさの森施設見学	10月23日	熊本市	クック・デリ
	北館相談員会議	3月13日	ZOOM	北館ブロック
管理栄養士	粕屋町地域ケア会議・研修会	6月16日	粕屋町	粕屋町
	粕屋高齢者栄養ケアサポート会	8月5日	〃	粕屋保健所
	福岡地区地域ケア会議	8月18日	〃	粕屋町
	熊本市地域ケア会議	8月21日	熊本市	熊本市福祉課
	施設高齢時代に備える持続可能な食事提供に向けて	9月19日	博多区	県老協
	特養こどもさの森施設見学	10月23日	熊本市	クック・デリ
	粕屋町地域ケア会議・研修会	1月15日	粕屋町	粕屋町
	やすらぎの施設(経口加算ASK)	2月16日	志免町	熊本市
	管理栄養士養成施設の施設実習に関する連絡協議会	3月10日	福岡区	中村学園大学
	粕屋町ケア会議・評価会議	3月16日	粕屋町	粕屋町
看護職	喀痰吸引内部研修	4/26-6/18・8/20-10/15-12/17	熊本市	看護部・介護職
	人権研修研修	2025/8/20-2/18	〃	看護部・介護職
	人権研修に関する地域医療連携者研修会	9月2日	粕屋町	粕屋保健所
	感染症予防研修	12月10日	〃	〃
介護職	喀痰吸引内部研修	4/26-6/18・8/20-10/15-12/17	熊本市	看護部・介護職
	排泄ケア研修	6月18日	〃	ユニ・チャーム協力(担当者来社)
	人権研修研修	2025/8/20-2/18	〃	看護部・介護職
	事例オンライン研修	8月20日	ZOOM	福岡地区老協
	技術向上研修(生産性向上と業務効率化)	10月1日	博多区	県保健医療介護部
	技術向上研修(認知症ケア)	10月29日	宗像市	〃
	技術向上研修(高齢者虐待)	2025/11/4-12/15	博多区	〃
	福祉用具セミナー(2名参加)	11月6日	クローバープラザ	県社協
	ノーリフティングケアフォーラム	11月12日	熊本市	県介護福祉協議会
	聖母園視察	12月8日	大刀洗	張りコネット機器見学
	皮膚清潔と褥瘡予防について	10月15日	熊本市	入浴清潔ケア向上・褥瘡・褥瘡防止委員
	食事介助・口腔ケア実地研修	12月17日	熊本市	口腔衛生管理委員会
主任ケアマネ	生産性向上推進フォーラム	3月2日	Web	厚労省
	熊本市介護サービス事業者連絡会	5月20日	熊本市	熊本市福祉課
	令和7年度集団指導	6月18日	博多区	広域連合
	地域包括核対会	8月21日	中村消防署	熊本市地域包括支援隊
	利用者からの暴力・ハラスメント対策研修会	9月3日	博多区	県保健医療介護部
	熊本市介護サービス事業者連絡会	11月11日	熊本市	熊本市
	高齢者虐待防止研修	11月13日	〃	熊本市

令和7年度 介護保険事業報告 (特養施設・ショートステイ・ケアプラン・デイサービス)

【概要①】 特別養護老人ホーム 篠栗荘 (介護老人福祉施設)定員50名

※ショート空床時に特例入所として2名分利用

年間延利用者数	18125人
月平均延利用者数	1510.4人
月平均利用者数	49.66人
月平均稼働率	99.32%

年間入所者	19名
年間入院者	45名
年間退所者	17名

平均要介護度	3.82
保険者	篠栗町が76%
利用者が負担軽減を受けている方・・・	64%

平均年齢	87.1歳
------	-------

○ 稼働率は99.32%。過去、令和6年度95.18%と比較して増加。

6月にコロナウイルスによるクラスター発生時は感染者3名に抑える事が出来ていた事などが功を奏し入院者の減少(令和6年度56名→令和7年度45名)に繋がったと考えられる。
また、今年度は退所者が昨年に比べて減少(令和6年度20名→令和7年度17名)だが、例年に比べるとまだまだ多い状況(令和元年度からの退所者平均は14人)ではある。
入院した利用者がそのまま退院出来ずに退所してしまう+入院時に死去される方が昨年同様に多い状況は変わらず、囑託医契約のある篠栗病院の体制が不安定な時に退所者が増加する傾向にある。相談員を中心とした他部門間との連携を密に行い、先ずは基本的な介護を丁寧に正確に実施する事で利用者の健康状態の維持に努め、入院者数を減らし、稼働率が安定した状態を維持する必要がある。更なる工夫を模索していかなければならない。

○ 平均要介護度は前年度3.9→3.82と減少。

新入所者の介護度内訳が要介護3：8名、要介護4：9名、要介護5：2名で全体的に新入所者の介護度が比較的低かった事が原因である。

○ 入所の方は篠栗町の方が76%で相変わらず多め。新規入所申込者も篠栗町の方が多い。

囑託医契約のある篠栗病院や、地域の病院・老人保健施設・ケアマネジャーからの紹介が多い事が一因と考えられる。今後も良い関係性を継続させる事が待機者の減少防止に繋がると思われる。

○ 負担軽減を受けている方は64%

(生活保護受給者 3名、負担限度額2段階 9名、負担限度額3段階① 8名、負担限度額3段階② 12名)
厚労省は今年8月から「第3段階②」の入所者を対象に負担限度額を引き上げる事を決定。
この施策によって受ける入所者の経済的負担は大きく、入所申し込み時点で入所費が高いからと入所に繋がらないケースや入院の方が経済的負担が少ないからと退院から戻らないケースも今後考えられる為、更に魅力ある施設作りに努めていく必要がある。

○ 成年後見人制度利用中の方は令和6年度は6名であったが、令和7年度は7名と増加。

成年後見人は司法書士だけではなく社会福祉士・弁護士など多方面から入所の相談があり。現在入所されている利用者の中でも成年後見人利用を検討している方もおり、今後も増加の傾向。

○ 入所待機者は約23名で、前年度(約15名)より増加。

【概要②】 併設ショートステイ事業(短期入所生活介護)定員10名

年間延利用者数	2048人
月平均延利用者数	162人
月平均稼働率	56.11%
1日平均利用者数	5.61人

要支援・要介護状況

要支援1	0.7%
要支援2	0.7%
要介護1	31.4%
要介護2	27.7%
要介護3	26.3%
要介護4	13.1%
要介護5	0%

稼働率は56.11%。令和6年度46.77%より増加しているが、令和元年度からの平均稼働率(61.36%)と比べると低い。原因としては特養退所者が多く、ショートロングステイ利用の方を入所に切り替えたことや、毎月定期的に利用していた方が、死去・入院・他施設への入所などで利用中止となり、代わりの方が直ぐに見つからなかった事などが稼働率伸び悩みの要因となっている。

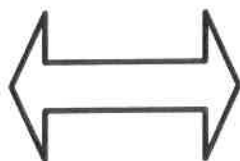
今後も稼働率向上に力を入れる為、周辺事業者との差別化を図り、様々なサービス(休日送迎や困難事例の受け入れ、遠方からの受け入れなど)を実施していく必要がある。

※更に魅力ある施設作りをして、アピールしていかなければならない。

【各部門要旨】 介護・看護・栄養部門報告

※介護・看護・栄養・相談・事務の5部門が意見交換し、連携強化＋統一したサービスの提供に努めた。

基本的介護の充実
感染症・褥瘡予防
事故防止
身体拘束廃止
高齢者虐待防止



各種委員会活動の充実
利用者の健康増進
ケアプラン・栄養ケアマネジメントの充実
家族との連携強化
より良い接遇を意識

※会議を充実させ職員間の連携促進を図った。

- ・職員全体会議を偶数月に実施し、各委員会からの活動報告と必要事項の説明・伝達＋研修概要の報告＋施設全体の問題点、改善点を話し合う様にした。職員全体会議は伝達だけではなく、話し合いの場として、全員が意見を言い合える様な雰囲気作りを行った。
- ・多職種代表会議は施設長以下、各部門の代表者が参加し、施設全体の問題点、改善点、方向性を話し合い、各種会議・委員会等へ説明・伝達を行った。
- ・フロア会議を奇数月に実施し、フロア内における連絡事項の確認、問題点等について話し合う様にした。フロア間の意思疎通が困難な場合は多職種代表会議を活用し、意見交換＋連携強化を図る。

※利用者満足の上昇に常に配慮し、施設として提供する基本サービスレベルの向上を図った。

- ・利用者の雰囲気は職員の接遇の鏡という事を意識した接遇を心掛け、心情に可能な限り寄り添える様に普段からコミュニケーションを大切にした。
- ・利用者自身からの要望だけでなく、要望の少ない利用者への対応等にも配慮していた。
- ・「その人らしさ」を尊重し、利用者に安心・安全に過ごして頂ける様な生活空間作りに努めた。
- ・職員目線の仕事ではなく、利用者目線のサービスを目指し、実行していった。

- ※ **ケアプラン・栄養ケアマネジメントに沿ったチームケアを推進した。**
- ・利用者個別のケアプラン・栄養ケアマネジメントに沿って、適正なサービスの提供を実施した。
 - ・栄養ケアマネジメントに沿った食事を提供する事で利用者の健康増進に努めた。
 - ・ケアプラン実施状況のこまめな記録・共有化に努め、評価・改善・見直しへと繋げる事で課題を評価・分析し、真のニーズの追究に努めた。
- ※ 施設機能を有効に活用できる様に、環境整備を充実させた。
- ・**環境整備とは『4S』(整理・整頓・清掃・清潔)の徹底である事**を意識し、実行していった。
 - ・清潔で快適な居住空間は利用者・職員ともに安全で快適な空間となる事を意識し利用者個々に合った居室のレイアウトを検討し、過ごしやすい空間作りを目指した。
 - ・令和7年6月から社会福祉法人三活会 わくわくスタジオ(就労継続支援B型)と契約を行い、**月2回のシーツ交換作業を依頼**。居室空間の清潔と介助業務負担軽減を担って頂いている。
- ※ 新型コロナウイルス感染症への対応の為に、感染症対策を徹底強化した。
- ・**令和7年8月に感染者が発生。入所者3名(内ショートステイ利用者1名)に感染。**
 - ・前年度までのクラスター対応経験を活かしスタンダードプリコーション(感染症に対する標準予防策)を意識し、熱発者が出た際はすぐに感染対策を行った為、**昨年度より感染者数が劇的に減少した。**
 - ・これまでの経験上「疑わしい症状には徹底的に対応する」を実践する為、**感染防止対策マニュアルの見直し・変更**を行い、徹底的な拡散防止を図った。
 - ・感染症対応に必要な知識を得る為、嘱託医契約のある篠栗病院が連携。**篠栗病院担当者による外部研修＋施設内研修の強化**を行った(感染対策向上加算Ⅱの計上)
 - ・家族への注意喚起を適宜報告し、感染者発生状況に応じて、面会の制限を実施。**面会は玄関ロビーに限定し、予約制としている。**
 - ・ボランティア、実習等への協力要請。
 - ・(玄関先での手指洗浄・消毒の徹底、体温測定と有事での出入り制限の徹底)
 - ・職員は毎日出勤時に検温を行い、37.0℃以上の熱がある場合には、状況に応じ、通院・自宅待機等の対応を行った。就業時にはマスク着用と手指洗浄・消毒の徹底を継続した。
- ※ **行事計画に基づき、多職種参加の企画会議を開催し、施設全体で行事を盛り上げていった。**
- ・**誕生会・喫茶・デザートバイキング・焼き芋会等の**行事はおやつを食べて頂くだけの行事にはせず、利用者に雰囲気も楽しんで頂くという意識を持って実施した。
 - ・感染状況をみながら**花祭り、敬老会、秋祭り、クリスマス会、新年の集い、節分の豆まき、桜花見**など充実した行事を実施することが出来た。
 - ・各行事は写真を撮り、**行事報告書として玄関ロビーに掲示する**事で家族面会時や見学者来訪時に見て頂く様にしている。

実施月	行事内容	行事食内容
4月	花祭り・誕生会	春のお弁当・お楽しみ献立・花祭りセレクト和菓子・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
5月	誕生会	端午の節句・お楽しみ献立・おやつバイキング・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
6月	誕生会	季節御膳・お楽しみ献立・おやつ喫茶・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
7月	七夕・スイカ割り・誕生会・	七夕そうめん・土用丑の日・スイカ割り・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
8月	盆供養・誕生会	季節御膳・お楽しみ献立・おやつバイキング・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
9月	敬老会・彼岸法要・誕生会	敬老会お祝い御膳・彼岸法要(秋のお彼岸)おはぎ・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
10月	焼き芋会・交歓大会・誕生会	秋のお弁当・ハロウィン御膳・焼き芋会・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
11月	秋祭り・焼き芋会・誕生会	秋祭り・お楽しみ献立・焼き芋会・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
12月	クリスマス・誕生会	クリスマス・冬至・年越しそば・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ
1月	新年祝賀会・誕生会	お正月おせち・春の七草・鏡開き・誕生会ババロアケーキ・お楽しみおやつ

2月	節分豆まき・誕生会	節分巻き寿司・バレンタインデー・おやつチョコフォンデュ・誕生日ババロアケーキ・お楽しみおやつ
3月	桜花見・ひな祭り・彼岸法要・誕生会	ひな祭り・お楽しみ献立・彼岸法要(春のお彼岸)おはぎ・誕生日ババロアケーキ・お楽しみおやつ

- ・今年度は例年通りの行事や外出を実施する事が出来た。
- ・今後も状況を見ながら適宜、行事や外出を実施していきたい。
- ・毎日の習慣として午前11:00から全館にラジオ体操を流し、一緒に体操をして頂くことで少しでも楽しみや生活にメリハリを持って頂けるようにしている。

【各委員会要旨】 各種委員会の活動報告

生産性向上委員会

- ①業務改善への取り組みについて
 - ・アンケートを実施し、**継続していく部分と改善が必要なものを見極めムリ・ムダ・ムラのない安定的な業務改善の取り組み**を行った。一部の意見での業務改善にならない様に適宜、協議を行った。
- ②内部研修の充実
 - ・**研修計画書を活用**し、研修計画に沿って各委員会の意識向上、内部研修の充実を目的とした働きかけを行った(二カ月前には研修計画書を作成)
- ③チームケアの質の向上
 - ・誰もが働きがい働きやすさを感じ、心に余裕を持って良いケアが提供できる事を念頭にOJTに
取り組み、雇用形態に関わらず声を聞く様、努めました。退職者の発生や利用者対応にて満足
する内容を提供する事が出来ていなかったと思われる。今後も改善に取り組んでいきたい。

口腔衛生管理委員会

- ①食事摂取量表の活用、個々の状況を把握周知する
 - ・**摂取量の変動・歯の状態・体調の変化の状態を直ぐに報告・連絡することができた。**
必要に応じて食事量や食事形態の見直ししたことで**低栄養状態・誤嚥予防に努めた。**
- ②口腔衛生管理の取り組み
 - ・全利用者の**口腔内評価(月1回)**が義務となり、「実際にどう進めていくか」を検討し、実施する事ができた。**口腔内の健康状態の評価表の様式を作成。**介護職担当者が評価表を形式的に記入。
評価表を多職種で確認・把握し、**リスクの高い利用者の早期発見や訪問歯科、専門職への相談がスムーズに行うことができた。**
- ③口腔ケア物品の管理の徹底
 - ・**口腔関係一覧表をより詳細な様式に変更**し、大きく各フロア洗面台に掲示したことで物品の周知徹底に活用する事ができている。物品の整理整頓、保管、衛生管理も良好。現状維持を目指していく。
- ④多職種連携について
 - ・今年度は**計12回・計48名の利用者の方を対象に口腔ケア指導を実施。**口腔ケア指導を通じて、
口腔ケアに係る技術的指導を職員に実施する事ができたと考えられる。しかし、職員による
技術にばらつきがある為、月1回程度の**口腔の健康状態及び情報共有書による口腔ケアに関する
アセスメントの実施**を続けていきたい。歯科医、歯科衛生士との連携を更に強化していきたい。

入浴・清潔ケア向上委員会

- ①インフルエンザやコロナなどの感染拡大時に入浴をどうするのか、感染者の対応など、マニュアル化できる様に、多職種で検討する。
 - ・**感染時に通常通り入浴するという事態が起きた。全職員へ対応方法をマニュアル化し、周知徹底**
できる様に努める。
- ②使用物品不足に全職員が意識して気付くよう、呼びかけや見える化する事によって不足を無す。
 - ・使用物品の管理に関しては**見える化・管理方法統一化**によって、不備も無く使用が出来ている。
- ③新入所や急なショート利用の際、速やかにスケジュールの変更・更新を行い、全体周知する。
 - ・急な変更があっても委員として速やかに動く事ができた。また、他職員も意識して対応出来ていた。

排泄ケア向上委員会

①看護部門との連携を強化について

- ・排泄介助、入浴の際に皮膚トラブル発見した時には看護師へ報告し、迅速な対応(処置)を徹底出来たが、毎月皮膚トラブルは数名あり。身体状態により皮膚状態が悪化する方も存在している。陰部洗浄方法の見直し、オムツ交換回数の見直しなども検討する必要がある。

②物品の管理、検討を行う

- ・使用パットを見直し、ムダをなくす様にすす為、オムツメーカー(ユニチャーム・アドバイザー)から定期的な面談にて排泄用品の使用目的や機能を学んでいる。

③オムツ見直しによる利用者への快適な環境を提供する

- ・尿路感染症の利用者が増加してきた事もあり、原因追及の為、オムツメーカー(ユニチャーム・アドバイザー)による内部講習を令和7年6月に実施。多数の職員が参加。今後も定期的の実施予定。
- ・各フロアでの要望や意見を排泄委員と随時協議し、オムツ交換回数の変更や使用物品の変更を周知させ、各部署からの報告をもとにフィードバックし、改善に努めていく。

感染症・褥瘡防止委員会

①感染症防止について

- ・令和7年8月にコロナ感染者出た際には即時全利用者居室隔離対応する事で感染拡大防止、クラスター化を防ぐ事が出来た。また、過去発生した際の反省を活かし、感染防止対策マニュアルの見直し・変更を行っている。今後も感染予防と拡散を図っていく。

②居室の衛生管理について

- ・4S(整理・整頓・清掃・清潔)に基づき、居室管理・環境整備・リネン類管理は徹底出来ている。

②褥瘡防止について

- ・毎月皮膚トラブルは数名あり。早期発見・速やかな処置により大きな皮膚トラブルにならずに済んでいる方もいるが、身体状態により皮膚状態が悪化する方も存在している。
- ・皮膚異常発生しやすい方には臥床時間の追加、排泄介助回数の追加、体交、座位調整などを追加し、予防に努めていく。食事や栄養面、皮膚清潔等において各部署+他委員会と連携する事で重症化することが無いように努めていく。

事故防止委員会

①ヒヤリハットの重要性の理解を深める為に全職員に発信・助言を行い、件数増加につなげる

- ・研修や会議等で「事故報告書、ヒヤリハットに関する資料」を配布。ヒヤリハットの重要性を発信。以前よりヒヤリハット件数は増加した。

②事故報告書の活用について

- ・事故報告書をただ書くだけに終わるのではなく、全職員が周知する為に迅速な報告書の提出と改善策の検討、実施が出来ていた。今後は再発予防策の継続に焦点を定めていきたい。

③夜勤に関わる全職員を対象とした、夜間緊急時の対応の理解を深める

- ・事故防止委員会が中心となり、緊急時や事故発生時の対応例をわかりやすく説明する研修を計画・実施した。
- ・日頃から事故防止委員会が呼び掛けや個別に助言を行い、急変時でも職員が迅速に対応出来るように発信を続ける。

虐待拘束廃止委員会

①身体拘束ゼロに向けて

- ・身体拘束の適正化のための指針に基づき、原則として身体拘束は行わないが、生命・身体保護の目的で、現在1名の方が身体拘束の対象となっている。
- ・利用者の心身の状態を見ながら条件を満たす事が出来れば直ちに拘束解除を行っていく。
- ・今後も緊急やむを得ない場合は指針に沿った手順(虐待拘束廃止委員会による検討、ご家族等への説明・同意、拘束の有効性の再検討、経過記録の保管)を徹底し拘束に踏み切る。

②3つのロック(スピーチロック・フィジカルロック・ドラックロック)について

- ・特にスピーチロックに焦点を当てて利用者様に不快な思いをさせない様に行動する様に目標を立てていたが、職員が少ない、業務に余裕がないなど、状況によっては出てしまう事があった。今後は個人、チーム単位で意識・改善してなくしていかなければならない。

③虐待防止に向けた取り組みについて

- ・今年度は2回の研修会を実施。虐待や身体拘束に関して知識を高める事が出来ている。
- ・また、研修会後にアンケート(虐待の芽チェックリスト)を配布し虐待予防への意識を高める事が

出来ている。

- ・虐待防止に向けた月間テーマを作成・掲示。目標達成度についてアンケート集計を実施。

月間テーマの目標はあまり達成できていない。全職員意識をもってケアに取り組んでいくように努める必要がある。

※虐待や身体拘束廃止に関しては、介護保険報酬改定で更に厳しくなっていく為、外部研修参加や職員の声を聞く機会を定期的に作り、虐待や身体拘束に関する知識を充実させる必要がある。

安全対策委員会

①吸引実施記録について

- ・喀痰吸引を実施した際の記録を個人経過記録・吸引実施記録・特定行為実施記録に記入する事を前半は高く意識していたが、段々と伝達不十分になり特定行為実施記録について記録抜けがあった。周知徹底に努めたい。

②物品管理について

- ・吸引機に番号を付け、設置場所の表を作成。どの吸引機がどこにあるか明確になりスムーズに準備する様にしていたが、途中より設置場所の確認や表の更新が不十分になってしまった感あり。周知徹底に努めたい。

③内部研修の活用について

- ・吸引実施研修において看護師が吸引実施する際、介護職員にどのようにサポートして欲しいかという内容の指導も行った。しかし、実際に看護師が吸引する際、積極的にサポートしようとする意識が薄い様に感じる。

また、**口腔衛生管理委員会研修(水分のトロミ付け研修)の流れの中で喀痰吸引研修も行った。**
他委員会との協同を今後も模索していきたい。

研修実施		
実施月	担当者	研修内容
4月	施設長＋事務長＋主任相談員 安全対策委員会	・新年度事業計画 方針説明 ・特定行為実地研修
5月	感染症・褥瘡防止委員会	・感染症対策研修 ・ 篠栗荘感染対策マニュアル完成後の内容確認
6月	排泄ケア向上委員会 (外部講師:ユニ・チャームアドバイザー) 安全対策委員会	・ 排泄ケアの基礎について講義 ・実際の排泄製品の特長と性能、有効利用についての説明と実技 ・特定行為実地研修
7月	防火管理者	・非常時行動確認訓練 ・自動通報装置作動訓練
8月	虐待拘束廃止委員会＋生活相談員 安全対策委員会	・人権擁護研修(身体拘束廃止・高齢者虐待防止) ・特定行為実地研修
9月	事故防止委員会＋生活相談員	・リスクマネジメント研修 (スライディングボードを使った安全な移乗方法)
10月	入浴清潔ケア向上委員会 感染症・褥瘡防止委員会 安全対策委員会	・皮膚清潔と褥瘡予防について (動画視聴による研修) ・特定行為実地研修
11月	感染症・褥瘡防止委員会	・感染症対策研修 ・ガウンデグニッグ実地研修
12月	口腔衛生管理委員会 安全対策委員会	・トロミ剤の使用方法について講義＋実地研修 ・特定行為実地研修
1月	感染症・褥瘡防止委員会 (外部講師:篠栗病院担当者) 防火管理者	・ 感染症対策について講義 (基本的な感染予防策・ガウンテクニック・ゾーニングなど) ・非常時行動確認訓練 自動通報装置作動訓練
2月	虐待拘束廃止委員会＋生活相談員 安全対策委員会	・人権擁護研修(身体拘束廃止・高齢者虐待防止) ・特定行為実地研修
3月	事故防止委員会＋生活相談員	・リスクマネジメント研修 (事故防止に関する動画視聴)

業務分担・省力化対策

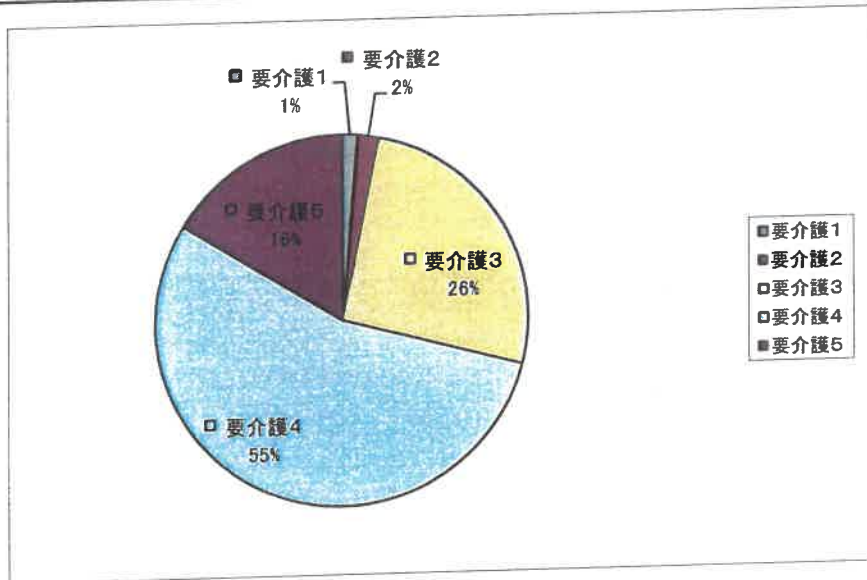
- ・特別支援学校の卒業生1名が非常勤で介助員(清掃業務)として順調に勤続。
- ・人手不足感のある介護職の負担軽減の為、シニアパートスタッフ等に介助(清掃・洗濯等)の業務分担を実施。ふれあい会ボランティアのシーツ交換作業を月1回(第2水曜)受入れ。
わくわくスタジオ(就労継続支援B型)のシーツ交換作業を月2回(第1・第3月曜)依頼。
居室の清潔空間の一役を担って頂いている。

【特養・篠栗荘】令和7年度

(定員50名)

① 年間要介護度別利用人員(在籍)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	0%
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	12	2.0%
要介護2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	14	14	158	25.9%
要介護3	15	14	14	12	11	11	12	13	14	29	28	28	334	54.7%
要介護4	23	27	27	29	30	29	27	28	29	7	7	7	99	16.2%
要介護5	11	8	8	9	9	9	9	7	8	51	50	50	611	100.0%
合計	51	51	51	52	52	51	50	50	52	3.82	3.82	3.82	3.82	
平均介護度	3.82	3.78	3.78	3.85	3.87	3.86	3.84	3.78	3.85					



② 月別利用日数(入院等含む) (定員50名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	2.0%
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	434	392	434	4708	26.0%
要介護3	444	434	394	359	341	330	354	372	420	856	749	867	9881	54.5%
要介護4	664	789	800	891	904	829	818	837	877	217	196	217	2920	16.1%
要介護5	293	248	240	279	279	270	248	210	223	1538	1365	1549	18125	100.0%
合計	1461	1533	1494	1591	1586	1489	1482	1479	1558	31	28	31	365	
月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	49.61	48.75	49.97	49.66	
平均	48.70	49.45	49.80	51.32	51.16	49.63	47.81	49.30	50.26	1463	1356	1528	17371	
昨年度	1498	1547	1451	1441	1434	1350	1424	1389	1490					

月平均 1,510.4人 入所率 99.32%
昨年度平均 1,447.6人 昨年度との比較 104.34%

③ 月別利用日数(入院・外泊等除く)(定員50名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
自費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護1	27	30	15	28	30	29	30	28	7	31	28	31	365	2.0%
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	403	364	393	4330	23.9%
要介護3	414	403	384	339	322	270	283	361	394	823	725	832	9468	52.2%
要介護4	634	761	798	880	830	764	792	791	838	217	196	217	2678	14.8%
要介護5	248	217	210	248	276	259	195	197	198	1474	1313	1473	17065	94.2%
合計	1353	1442	1437	1526	1489	1352	1331	1407	1468	31	28	31	365	
月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	47.55	46.89	47.52	46.75	
平均	45.10	46.52	47.90	49.23	48.03	45.07	42.94	46.90	47.35	1346	1289	1397	15953	
昨年度	1414	1418	1188	1243	1351	1245	1336	1345	1381					

月平均 1,422.1人 ベッド稼働率 93.51%
昨年度平均 1,329.4人 昨年度との比較 106.97%

④ 入所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	要介護1													0
	要介護2													0
	要介護3	2			1			1	2	1			1	8
	要介護4		3	1	1			1	1			1	1	9
	要介護5	1								1				2
	合計	3	3	1	2	0	0	2	3	2	0	1	2	19

⑤ 退所状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	要介護1													0
	要介護2													0
	要介護3			1				1				1		3
	要介護4	1	1			1	3			1	2	1		10
	要介護5	2						2						4
	合計	3	1	1	0	1	3	3	0	1	2	2	0	17

⑥ 入院状況 (延べ日数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	要介護1	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護3	30	31	10	20	18	60	71	11	26	31	28	41	377	
	要介護4	30	28	2	11	73	11	26	42	36	26	23	15	323	
	要介護5	45	31	30	31	3	65	53	13	25	0	0	0	296	前年比
	本年度合計	105	90	56	62	94	136	150	66	87	57	51	56	1010	72.4%
	前年度数値	84	119	263	197	77	105	88	44	107	115	67	129	1395	

入所者 (3月31日付)

	男	女	合計	割合
40-64	0	0	0	0.0%
65-69	1	0	1	2.0%
70-74	1	1	2	4.0%
75-79	0	4	4	8.0%
80-84	1	8	9	18.0%
85-89	1	11	12	24.0%
90-94	2	12	14	28.0%
95以上	0	8	8	16.0%
合 計	6	44	50	100%

※全体平均年齢・・・87.1歳

※男性平均年齢・・・81.6歳

※女性平均年齢・・・87.8歳

要介護度 (3月31日付)

要介護度			
	男	女	合計
要介護度1	0	0	0
要介護度2	0	1	1
要介護度3	2	12	14
要介護度4	4	24	28
要介護度5	0	7	7
計	6	44	50

※平均要介護度:3.82

保険者内訳 (3月31日付)

保険者	人数	割合
篠栗町	38	76%
粕屋町	1	2%
久山町	2	4%
福岡市	4	8%
大野城市	1	2%
飯塚市	1	2%
嘉麻市	1	2%
伊万里市	1	2%
対馬市	1	2%

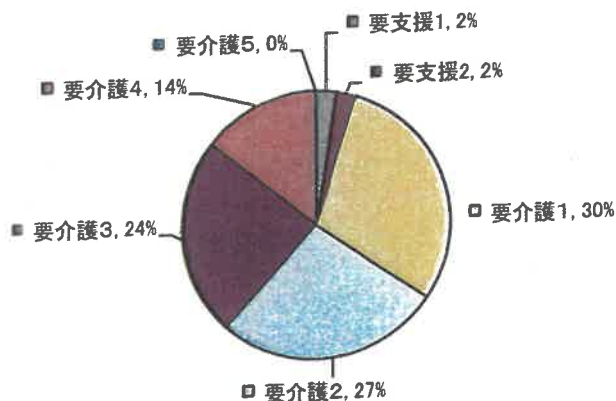
所得段階等 (3月31日付)

所得段階	人数	割合
生活保護	3	
1段階	3	(生活保護の方と同じ)
2段階	9	
3段階①	8	
3段階②	12	
4段階	17	
4段階(2割負担)	1	
4段階(3割負担)	0	
合計	50	

【併設短期入所(ショートステイ)】令和7年度 定員10名

① 月別利用人員

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
要支援1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2.5%
要支援2	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	4	2.5%
要介護1	5	3	3	2	4	3	4	4	5	6	5	4	48	29.6%
要介護2	4	4	5	5	4	2	2	3	4	4	4	3	44	27.2%
要介護3	2	3	3	2	4	5	3	5	4	2	4	2	39	24.1%
要介護4	3	4	4	3	3	3	2	0	0	0	0	1	23	14.2%
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	15	15	16	13	15	13	13	13	13	13	13	10	162	100.0%
平均介護度	2.1	2.4	2.4	2.3	2.4	2.6	2.0	2.0	1.9	1.6	1.9	2.0	2.2	



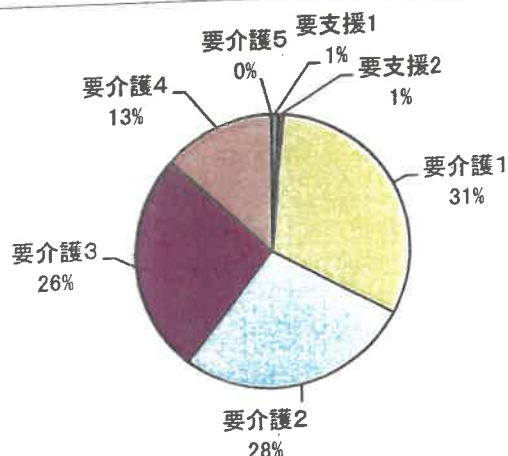
② 月別利用日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
認定無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要支援1	3	4	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0.7%
要支援2	0	0	0	0	0	0	6	2	0	7	0	0	15	0.7%
要介護1	48	32	41	29	48	42	42	66	73	83	70	70	644	31.4%
要介護2	60	85	84	77	32	22	16	32	40	17	46	56	567	27.7%
要介護3	12	36	37	23	61	76	57	73	53	34	42	34	538	26.3%
要介護4	42	55	41	33	46	28	18	0	0	0	0	6	269	13.1%
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	165	212	208	165	187	168	139	173	166	141	158	166	2048	100.0%
月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
平均	5.50	6.84	6.93	5.32	6.03	5.60	4.48	5.77	5.35	4.55	5.64	5.35	5.61	
昨年度	176	178	122	167	139	111	114	111	144	143	147	155	1707	

月平均 170.67

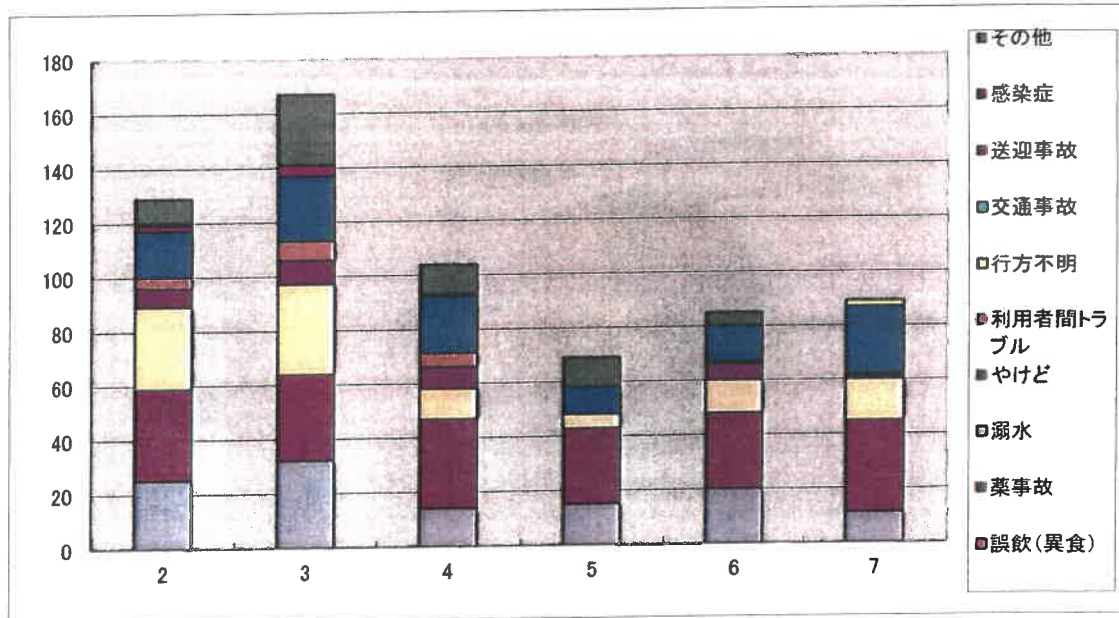
稼働率 56.11% (定員10名)

昨年との比較 119.98%



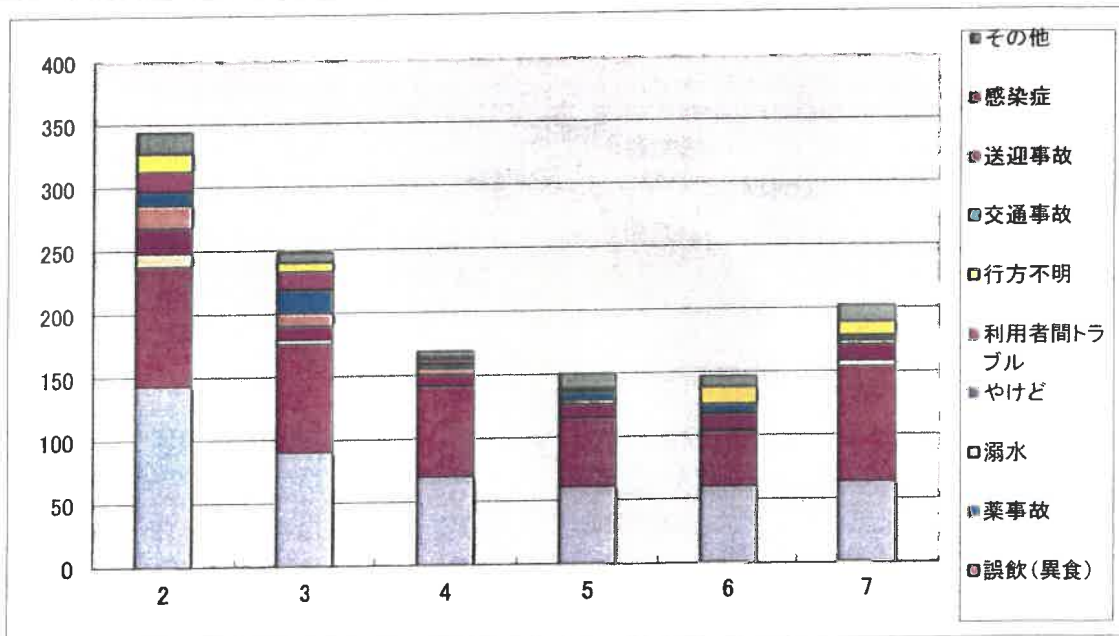
特養・短期入所事故報告書件数

年度	転倒	転落 座り込み	打ち付け 挟み込み 皮膚剥離	衝突	義歯関係 誤嚥・誤配	誤飲（異食）	薬事故	溺水	やけど	利用者間トラブル	行方不明	交通事故	送迎事故	感染症	その他	合計
2	25	34	30	0	7	4	17	0	0	2	1	0	0	0	9	129
3	32	32	33	0	9	7	24	0	0	4	0	0	0	0	26	167
4	14	33	11	0	8	5	21	0	0	1	0	0	0	0	11	104
5	15	28	5	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	11	69
6	20	28	12	0	6	1	13	0	0	0	0	0	0	0	5	85
7	11	34	15	0	1	1	25	0	0	0	2	0	0	0	0	89



ヒヤリハット報告書件数

年度	転倒	転落 座り込み	打ち付け 挟み込み 皮膚剥離	衝突	誤嚥・誤配	義歯関係	誤飲（異食）	薬事故	溺水	やけど	利用者間トラブル	行方不明	交通事故	送迎事故	感染症	その他	合計
2	143	95	10	0	20	18	11	0	0	16	14	0	0	0	0	17	344
3	90	86	3	0	11	10	18	0	1	14	7	0	0	0	0	8	248
4	70	71	1	0	8	5	3	0	1	3	2	0	0	0	0	5	169
5	61	54	0	0	11	3	6	0	0	1	2	0	0	0	0	12	150
6	60	43	1	0	13	1	7	0	0	0	13	0	0	0	0	9	147
7	63	91	4	0	13	3	3	0	0	1	11	0	0	0	0	13	202



利用者の食事状況報告 令和8年3月31日現在

○ 栄養ケアマネジメント状況

低栄養リスクレベルの判定状況 高リスク 1名・中リスク 16名・低リスク 33名
 栄養ケアマネジメント実施状況 高リスク月2回・中リスク月1回・低リスク 3ヶ月に1回
 経口摂取以外の方の状況 胃ろう造設者 2名

○ 行事食実施状況

実施月	昼食		おやつ	
4月	春の弁当	お楽しみ献立 (サンドイッチ)	花祭り(ぜんざい)	ティラミス風
5月	季節御膳	お楽しみ献立 (炊き込みピラフ)	おやつバイキング	お好み焼き
6月	季節御膳	お楽しみ献立 (ミートソーススパゲティ)	ホットケーキ作り	和風オープンサンド
7月	七夕そうめん	土用の丑	すいか割り	和風ミニパフェ
8月	季節御膳	お楽しみ献立 (ハンバーグプレート)	おやつバイキング	オムレットケーキ
9月	敬老のお祝い御膳		秋のお彼岸(おはぎ)	スイートポテト
10月	秋のお弁当	ハロウィン御膳	焼き芋会	モンブラン
11月	秋祭り 屋台形式 寿司、焼きそば、鈴カステラ等	お楽しみ献立 (栗ご飯)	焼き芋会	プリンアラモード
12月	クリスマス おでんバイキング	冬至 /年越しそば		クリスマスケーキ
1月	おせち料理	春の七草	鏡開き(ぜんざい)	チョコミニパフェ
2月	節分	お楽しみ献立 (散らし寿司)	ホットケーキ作り	お好み焼き
3月	ひな祭り	お楽しみ献立 (ふわ卵そえキーマカレー)	春のお彼岸(ぼた餅)	パンプディング

- ・毎月1日：お赤飯
- ・毎月誕生会日：ババロアケーキ

特別養護老人ホーム

篠栗荘

篠栗荘併設
短期入所生活介護

ショートステイ事業・定員10名

(介護老人福祉施設 介護保険事業所番号 4073900062)

分野名 介護老人福祉施設

施設長 柳 竜一

○ 居宅介護支援事業〔篠栗荘ケアプランセンター〕

(介護保険事業所番号 4073900054)

(実務について)

分野名 居宅介護支援事業

主任ケアマネ 岩橋慈子

契約者 24 名 令和 8 年 3 月末現在

令和 7 年度新規利用者 12 名

令和 7 年度利用中止者 23 名 (死亡 3 名、施設入所 13 名、入院 4 名、
要支援のため包括へ 1 名、他居宅へ変更 2 名)

令和 7 年度の新規利用者の内訳は、地域包括からの依頼が 6 件、他事業所介護支援専門員退職による紹介 3 件、新規利用者が直接相談で契約となったケースは 3 件であった。

昨年町内居宅介護支援事業所の退職、入職があり、新規の相談の件数に波があった。年度末にまた、退職者が出たため、令和 8 年 3 月以降、新規相談が増えている。

要支援者が要介護状態となった場合、篠栗荘デイサービス、ショートステイをご利用されているご利用者様は、包括支援センターの紹介により篠栗荘ケアプランセンターの担当を希望される方が多い。

令和 7 年度の利用中止者は、篠栗荘ショートステイをご利用された方等が、ご家族の方の介護困難のため篠栗荘を中心とした施設に特に 11 月入所される方が多かった。また、状態の急変により亡くなられた方が数名おられ、その際ご家族が動転されたり、高齢で対応できず介護支援専門員が手続きや対応を支援したケースもあった。過度な要求、頻繁な連絡、暴言等のカスタマーハラスメントにより対応困難で包括支援センターに相談し他の居宅介護支援事業所に変更したケースや包括支援センター、病院と虐待対応を行い、その後亡くなられたケースもあった。新規導入時のみでなく終了時も細かな支援を必要とすることも増えている。

町内でも独居や高齢者夫婦の世帯が増えており、その上、介護家族は遠方であったり、関係が希薄であったり支援を期待できない事例も多い。介護力不足や、家族関係の複雑化、経済的問題、権利を主張した過度な要求等、解決すべき課題が複雑化し、精神的負担が増えている。介護支援専門員は、高齢者が社会資源を利用し地域で生活できるよう調整する役割があるが、介護保険の利用のみでは在宅生活の継続は困難であり、しかしインフォーマルサービスの整備が不十分なため、介護支援専門員自身が社会資源とならざるを得ない状況で、シャドーワークが増えている。また、対応困難の事例が増加しており、記録も年々詳細に具体的に記載することが求められ一つの不備でも減算の対象となっている。

今後も地域に社会整備の整備を提案しながら、適正な運営を行い、要介護者の自立した在宅生活を支援していく

(介護保険関連申請書について)

住宅改修 2 件 福祉用具購入 2 件

(各種サービス利用者について)

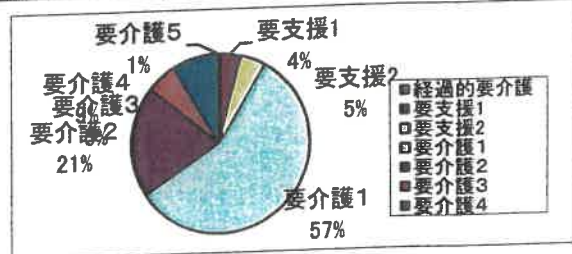
デイサービス 20 名 デイケア 3 名 訪問介護 2 名 福祉用具貸与 10 名

ショートステイ 10 名 訪問入浴 1 名 (月平均)

【篠栗荘ケアプランセンター:居宅介護支援事業】

① 月別ケアプラン作成人員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	4.5%
要支援2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17	5.3%
要介護1	17	16	14	14	16	16	17	13	13	15	13	13	177	57.3%
要介護2	8	8	8	8	5	4	4	3	4	3	4	3	62	20.1%
要介護3	1	1	1	1	2	2	1	2	2	1	2	1	17	5.5%
要介護4	4	4	3	2	3	3	3	1	1	1	1	1	27	8.7%
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	33	32	28	27	28	27	27	21	22	22	22	20	309	100.0%
	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.4	1.5	1.3	2.1	2.1	1.5	



33

② 月別ケアプランサービス委託先内訳

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
月別ケアプラン作成人員	33	32	28	27	28	27	27	21	22	22	22	20	309	
訪問介護														
篠栗町社協	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
レイクウッド	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
かずみ	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	7	2.3%
デイサービス														
篠栗荘ディ	14	14	14	12	13	14	14	12	10	10	9	9	145	46.9%
ケアパートナ	5	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	31	10.0%
スマイルデイ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
トリアス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
ソラリス	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
デイケア														
陽光苑	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20	6.5%
篠栗病院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11	3.6%
短期入所														
篠栗荘短期	9	8	9	7	9	10	9	9	8	8	9	8	103	33.3%
陽光苑	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	11	3.6%
福祉用具														
ベストケア	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
介福本舗	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
なんでも屋	6	6	7	5	5	4	4	4	5	4	4	3	57	18.4%
アクア	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
フランスベッド	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
ハミングバード	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	3.6%
スキップ	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	9	2.9%
訪問看護														
ひよこ	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39	12.6%
ささぐり	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	5	1.6%
スマイルケア	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	7.8%
訪問入浴														
アップルハート	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
訪問診療														
あさきクリニック	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	3.9%
訪問薬剤														
新生堂	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	2.9%
つどい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
訪問歯科														
あつし歯科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%

③ 月別ケアプラン作成内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規利用	4	0	1	0	2	1	0	0	1	2	1	0	12
利用中止者	2	1	5	1	1	2	0	6	0	2	1	2	23
住宅改修	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
福祉用具購入	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
相談	1	1	0	2	1	1	1	0	1	1	2	4	15
訪問	30	30	26	24	26	25	25	20	20	20	20	19	285
モニタリング	30	30	26	24	26	25	25	20	20	20	20	19	285
認定調査立ち会い	0	1	0	0	2	1	2	2	1	0	0	0	9

○ 通所介護事業（篠栗荘デイサービスセンター）

【年間総括】

令和7年度のデイ利用者の延人数は5802人、昨年は5686人であり、116名の増加です。しかし、新規利用は前年度より減少の19名であり、単価の低い要支援の方の割合が高く厳しい状況。新規の紹介先としては包括支援センターが多い傾向です。新規利用者も1年以内に7名の方が利用中止になっています。内訳をみると、入所に伴う減少もありました。要介護の方の入院及び施設入所に伴う減収もありました。感染症に関しては、6月下旬に一人のコロナ感染があり、続けて2名のスタッフが感染しました。利用者は7月初旬に1名が感染し、1週間程度の期間において1名ずつ感染する状況が9月初旬まで続き、約2か月間で13名感染しました。次の感染まで1週間前後あり、昨年度と違う状況であり、感染対策の見直しが今後の課題です。また新規利用者の傾向として、困難な対応を要する方が増えているように感じます。家族状況として、親子兄弟関係の希薄化及び悪化により、必要時に家族との連携が取れないケースが増えました。核家族化や顔なじみのお隣さんの減少も要因の一つです。その中で、ケアマネと連携を密にし、最善の対応を行いました。支出に関しては、物価高で増加していますので、何が必要であるか見極め、コスト削減意識を高めました。体験利用された方を確実に継続利用につなげられるかが課題として残りました。

【介護サービス】

食事	「家では一人で食べている。ここでは、皆と一緒に温かい状態で食べられるので嬉しい」との声をよく聞きました。また、ご飯が美味しいからと主食のご飯を最後に食べる方もいます。食事残渣も以前に比べ減りました。利用者の中には、「配食弁当を頼んでいるが自分の口には合わない。このご飯が美味しいので、弁当は出来ないか」との問い合わせもあり好評でした。
入浴	利用者48名のうち、44名が入浴を利用されています。独居や高齢夫婦の割合が多く、自宅での入浴が困難な方が増えてきました。「見守りがあるので安心して入浴出来る」「大きな風呂は気持ちがいいし、いつまでも体が温かい」と好評でした。同館内の入浴施設は、ボイラーの老朽化と経費過多の為、閉鎖となりました。同じボイラーを使用していますので、故障したときの対応が心配です。
排泄	利用者の排泄パターンを把握することで失禁が減ってきました。その人にあつたトイレ誘導や声かけを行いました。腸イレウスを起こしやすく度々入院になる方を多職種で検討を重ねた所、予防できた事例もあります。
レクリエーション	季節毎の外出行事を企画し実行しました。利用者から「良いものを見せてもらった」という声を、家族からは「外出に連れて行きたいが連れて行けないのでありがたい」という言葉を聞くことが出来ました。敷地内においても、オアシスにある立地条件を利用し、町内の行事に参加し喜ばれました。カラオケが趣味の方が多く、コロナ禍以降感染対策を取りながら満足して楽しんで頂けるよう工夫し、気軽にカラオケが出来るようにし、好評頂きました。
機能訓練	集団での体操、主治医の指導のもと、個別の運動（平行棒、滑車等）も実施しました。高齢に伴い、下肢筋力が低下されている方が増えている為、歩行状態の安定、身体機能維持を目的に、上下肢の運動、筋力バランスの運動を行いました。
健康チェック	検温、血圧測定により、早期に利用者の健康状態把握し、早期に利用者の異変に対応出来ました。
送迎	運転前のアルコールチェック、体調チェックを行い体調不良時は、送迎業務を変更する等の措置を講じました。また、利用者毎の送迎マニュアルを作成することにより情報の共有を図りました。

【地域との交流】

- ①地域交流
②ボランティア
③広報

①知人が気軽にデイに尋ねて来られます。町バスが唯一の交通手段の方も多く、デイでの交流をされていた方が介護認定を受けるようになり、デイを利用して頂くケースもありました。
②5団体のボランティア訪問により会話を楽しめたり知人との再会等、地域交流をする場になりました。
③窓越しに見学等みられる方、ケアマネジャーと一緒に見学に来られる方がおられました。しかし、オアシス閉館により、町内の方が「どんな所か？」と覗いて頂くことが減り、デイサービスの有無について知って頂く方法について課題が残りました。

【リスクマネジメント】

- ①ヒヤリハット・事故報告
②避難訓練

①重大事故には至っていませんが、下肢筋力低下に伴い、ふらつき、躓きの為、転倒の危険性があった事例がありました。また、利用日を忘れ、外出しようとしていた所を発見した事例もあり、送迎時間、ルートの変更を行うことで対策しました。緊急性のある事故は発生していませんが、衣類・持参薬の入れ間違え、受診の必要性のない転倒、尻もち等はみられています。事故は施設内外を問わず起こる危険性がある為、未然に防ぐことが出来るよう対策を図りました。
②オアシスと連携して、定期的に、避難訓練、消火訓練を実施しました。

【感染対策】

感染予防の継続

毎月の検討会にて、感染症に関する研修を行いました。また、感染症発生時に備え、必要物品及び感染経路等の再点検を行う課題が残りました。コロナウィルスの発生状況は落ち着いてきていますが、引き続き、マスク着用、手洗い、うがい等、基本的感染対策を実施しています。利用者、家族に感染が広がらずすみました。

【高齢者虐待防止】

人間尊厳

スタッフ間での研修を重ね、虐待への理解を深めることにより、デイサービス内で虐待は見られていませんが、事例として、家族が認知症介護の理解に乏しく、要介護者への暴言、介護放棄と思われる案件がありました。

【個人情報保護】

プライバシー保護の徹底

個人情報の取り扱いについて、特に、スタッフの携帯電話の取り扱いについて研修を行いました。また、送迎表(利用者名、マンション部屋番号、キーボックス番号、迎え時、連絡必要者の携帯番号)には、個人情報が記載されている為、車中に置きっぱなしせず、デイ内に持ち帰ることを徹底しました。

【安全運転】

事故ゼロの継続

マンション等の利用者も増え、マンション付近での走行等、運転に細心の注意を払うことが多くなりました。単独での接触事案が2件ありましたが、利用者が同乗しての事故は起きていません。今後も安全な運転が行えるように、研修やマニュアルの徹底、スタッフの健康管理の体制作りの再検討の課題が残りました。

【デイサービスセンター：通所介護事業】

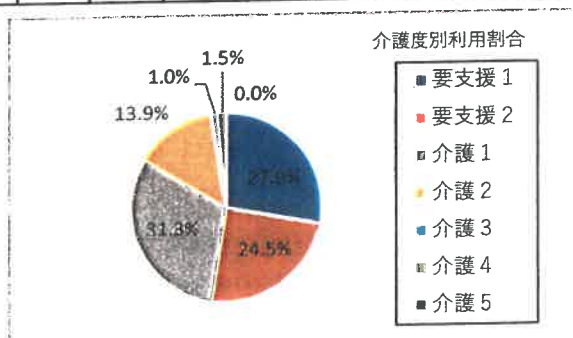
定数 25

① 令和7年度新規利用者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業人数	2	1	3	0	0	1	0	1	0	1	1	2	12人
介護人数	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	1	0	7人
前年度人数	2	3	8	2	1	2	2	0	0	4	3	1	28人

② 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
要支援1	15	16	18	18	14	15	14	14	12	12	13	12	173	27.9%
要支援2	12	12	13	13	11	11	11	13	13	14	14	15	152	24.5%
要支援合計	27	28	31	31	25	26	25	27	25	26	27	27	325	52.4%
介護1	16	16	16	16	18	19	20	15	15	15	15	13	194	31.3%
介護2	9	9	9	8	6	6	7	8	8	6	5	5	86	13.9%
介護3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	6	1.0%
介護4	1	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	1	9	1.5%
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
要介護合計	27	27	27	25	26	26	28	23	23	21	22	20	295	47.6%
総合計	54	55	58	56	51	52	53	50	48	47	49	47	620	100.0%
前年度	43	46	51	53	51	52	54	53	52	50	51	52	608	



③ 年間介護度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	全体割合	各割合
要支援1	100	115	118	111	88	92	96	89	86	76	64	72	1107	19.1%	48%
要支援2	100	99	98	100	68	92	88	107	110	108	101	118	1189	20.5%	52%
総合合計	200	214	216	211	156	184	184	196	196	184	165	190	2296	39.6%	
要介護1	189	199	188	176	191	218	227	175	167	180	142	178	2230	38.4%	64%
要介護2	119	126	106	94	81	94	89	88	77	85	63	71	1093	18.8%	31%
要介護3	19	17	16	0	0	0	0	0	0	0	33	25	110	1.9%	3%
要介護4	17	17	12	12	7	1	4	0	0	0	0	3	73	1.3%	2%
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0%
介護合計	344	359	322	282	279	313	320	263	244	265	238	277	3506	60.4%	
総合合計	544	573	538	493	435	497	504	459	440	449	403	467	5802	100.0%	
実施日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309		
1日平均	20.92	21.22	21.52	18.26	16.73	19.12	18.67	18.36	16.92	18.71	16.79	17.96	18.78		
稼働率	83.7%	84.9%	86.1%	73.0%	66.9%	76.5%	74.7%	73.4%	67.7%	74.9%	67.2%	71.8%	75.1%		
前年度	412	465	505	534	387	483	508	536	480	437	445	494	5686		

